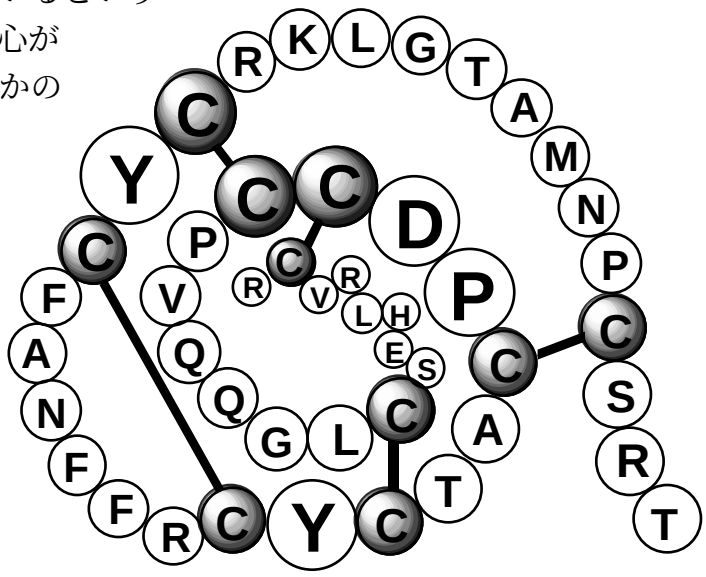
AGRP (86-132)

注目の摂食促進ペプチド

中枢の摂食調節には多くのペプチドや蛋白質が関与しています。これらは互いに影響しあって調節機能を発現しています。ここでは、活性中心が部分構造に認められる摂食促進蛋白性因子について紹介します。

AGRP (agouti-related protein) はagouti proteinの関連物質検索中に遺伝子構造の解析から見出された蛋白質で、ヒトの場合、132 アミノ酸残基からなります。この蛋白質中の10 残基のシステインが全てC端部に集中しているという一次構造の特徴から、“ AGRP の活性中心がこのC端部にあるのでは ” と考えた幾つかのグループが精力的に仕事を進めました [*Science*, **278**, 135 (1997); *FEBS Lett.*,**428**, 59 (1998); *Biochemistry*, **37**, 16041 (1998); *Mol. Endocrinol.*, **13**, 148 (1999)]。これらのうち、**AGRP (86-132)** がメラノコルチンレセプター (MC) の中で、摂食に関与すると考えられている MC-3 とMC-4 へのリガンドの結合を２nMと19 nMで強く阻害することが提示されました[*Biochemistry*, **37**, 16041 (1998)]。その受容体特異性は高く、α-MSH の刺激によるcAMP産生は MC-3 と MC-4 で特異的に阻害されるものの、MC-1 と MC-5 においては阻害されないことも確認されています。また、合成したこのペプチドを脳室内に適用すると摂食促進作用を示すことも認められています[*J. Biol. Chem.*, **275**, 6695 (2000)]。



AGRP (Human, 86-132)

コード	製品名	包装・容量	価格
4366-s	**Agouti-Related Protein (Human, 86-132)**	**0.1 mg vial**	**￥30,000**

◎本品は有機化学的に合成された高純度な研究用試薬です.

関連商品	コード	製品名	包装・容量	価格
食欲促進	4158-s	NPY (Human, Rat)	0.1 mg vial	￥12,000
	4162-s	NPY (Porcine, Bovine)	0.1 mg vial	￥12,000
	4369-v	Melanin-Concentrating Hormone (Human)	0.5 mg vial	￥15,000
食欲抑制	4350-s	CART (Human, 55-102)	0.1 mg vial	￥30,000
	4351-s	CART (Rat, 55-102)	0.1 mg vial	￥30,000
	4057-v	α-MSH	0.5 mg vial	￥ 5,700

株式会社 ペプチド研究所

〒562-8686 大阪府箕面市稲4丁目1番2号

電話: 0727-29-4121 FAX: 0727-29-4124 http://www.peptide.co.jp/